

昭和52年度演習林年報

<https://doi.org/10.15017/18565>

出版情報：年報（九州大学農学部演習林年報）．1977，1978-11-30．九州大学農学部附属演習林
バージョン：
権利関係：

は し が き

この年報もまだ3号目である。しかし森林は、文字どおり百年の大計である。永い年月の自然と人間の業によって、移り変ってゆく森林にとっては、百年もまたその一刻みの時間にすぎない。この年報は、動きはじめた時計の秒針の単なる一刻みである。

いうまでもなく演習林は、森林学・林業学・林産学等の研究・教育の場であるが、森林としての自然的・社会的責任を基盤として、はじめて存在し得ることが忘れられてはならない。

したがって研究・教育上は勿論、自然的、社会的面からも演習林の内外をとわず、汎い分野の支援と叱正を期待し、またその効果を年々反映させてゆきたいと思う。

1978年11月

演習林研究部長 加 藤 退 介